



がんばってます!

12月臨時会

物価高騰対策費
89億7千万円、
クマ対策費
1億7千万円を
可決!!

令和7年12月24日開催の岩手県議会臨時会において物価高騰対策費・総額89・7億円やクマ被害対策費・総額1億7千7百万円などを可決しました。

これに先立ち、12月定例県議会では物価高騰対策として生活困窮者への灯油購入補助4億円、賃上げ支援金補助27億1千万円などをすでに可決しており、本年度の物価高騰対策費の総額は126・7億円（生活者支援45・6億円、事業者支援81・1億円）になりました。

昨年度の物価高騰対策予算と比較すると67・5億円の増となっております。臨時県議会で可決された物価高騰対策とクマ被害対策の主な事業と予算額は下記の通りです（一部12月定例会で可決されたものも含んでいます）。

令和7年度の主な物価高対策

予算総額 126.7 億円（前年比 + 67.5 億円）※生活者支援 45.6 億円／事業者支援 81.1 億円

支援先	事業概要
生活者支援	●生活困窮者原油価格・物価高騰等特別対策費補助 住民税非課税世帯のうち高齢者世帯、障がい者世帯、ひとり親世帯等と被保護世帯に灯油購入費等7千円を給付
	●学校給食物価高騰対策等支援費 県立学校の給食費の値上げ分を支援〔下半期分〕
	●LPGガス価格高騰対策費 一般消費者に1,900円（前年比+600円）、工業用消費者に35円/m ³ の支援金を支給〔下半期分〕 ●岩手県物価高騰対策賃上げ支援費 賃上げした中小企業者に従業員1人当たり6万円または8万円（前年比+2万円）を支援 ※1事業所あたり最大50名分400万円（前年比+100万円）

中小企業分野	<ul style="list-style-type: none"> ●特別高圧電力利用中小企業者電気料金支援金 0.3 億円 〔1kWhあたり支援単価〕R8.1～2：2.3円（前年比+1.0円）R8.3：0.8円（前年比+0.1円） ●岩手県物価高騰対策賃上げ支援費 27.1 億円 ※12月定例会措置分（再掲） 賃上げした中小企業者に従業員1人当たり6万円または8万円（前年比+2万円）を支援 ※1事業所あたり最大50名分400万円（前年比+100万円） ●【新規】県産酒米安定確保支援事業費 1.6 億円 県産原料米仕入れ価格の高騰分※の1/2を補助（※補助単価：県産酒造好適米13,070円/俵、県産加工用米9,800円/俵） ●【新規】中小企業者等賃上げ環境整備緊急支援事業費補助 1.5 億円 生産性向上に向けた設備投資等を補助（補助率2/3、上限200万円）※補助要件あり（経営革新計画の承認等） ●【新規】水産加工業原材料調達円滑化対策事業費 1.3 億円 原材料仕入れ価格の高騰分の1/2を補助（上限100万円）
	<ul style="list-style-type: none"> ●【拡充】教育旅行受入施設支援緊急対策費 1.7 億円 教育旅行の受け入れ経費として1千円（人泊）に加えて、新たにバス借上料（3～5万円）を支援〔R7.10～R8.9〕
	<ul style="list-style-type: none"> ●農業水利施設省エネルギー化推進対策費補助 0.2 億円 土地改良区の電気料金の高騰分の1/2または7/10を補助〔R7.6～9〕 ●肥料コスト低減技術活用環境整備事業費補助 0.2 億円 化学肥料低減のための機械導入費の1/2を補助（上限300万円） ●【新規】スマート農業機械等導入緊急対策費補助 1.3 億円 低コスト・省力化のための機械導入費の1/2を補助（上限1,250万円）
	<ul style="list-style-type: none"> ●配合飼料価格安定緊急対策費補助 14.1 億円 補填金控除後負担の1/3を補助（上限2千円/t）〔下半期分〕
	<ul style="list-style-type: none"> ●水産業種苗価格高騰緊急対策費補助 0.1 億円 種苗（ウニ、ナマコ）価格の高騰分の1/2を補助〔R8年度分〕
	<ul style="list-style-type: none"> ●社会福祉施設等物価高騰緊急対策支援費 7.4 億円 介護、障がい福祉、救護、児童福祉各施設の光熱費・食材料費高騰分として、入所施設は定員1人あたり1万3,700円（前年比+3,700円）、通所・訪問等事業者は1事業所あたり3.9万～13.6万円（前年比+0.9万～3.6万円）を支給〔下半期分〕 ●医療施設等物価高騰緊急対策支援費 4.4 億円 光熱費高騰分として、下記を支給〔下半期分〕 <ul style="list-style-type: none"> ・病院、有床診療所に23万円（前年比+3万円）+1床あたり21,300円（前年比+5,300円） ・無床診療所、助産所に1施設あたり11.5万円（前年比+1.5万円） ・施術所（按摩、針など）に1施設あたり3.8万円（前年比+0.5万円） ・薬局に1店舗あたり3.8万円（前年比+2.3万円） ●【新規】医療機関等経営改善・従事者待遇改善等緊急支援事業費 7.0 億円 賃金引上げや診療に必要な経費の物価高騰分として、下記を支給

事業者支援		<ul style="list-style-type: none"> ・有床診療所に 1 床あたり 8.5 万円 ・無床診療所等、歯科診療所に 1 施設あたり 32 万円 ・訪問看護ステーションに 1 施設あたり 22.8 万円 ・保険薬局に 1 事業者あたり 12 ~ 23 万円 <p>●【新規】福祉・介護職員等処遇改善等緊急支援事業費 4.4 億円 賃金引上げやサービスの円滑な継続に必要な経費として、従業員 1 人あたり 6 万円を支給 ※補助要件あり（処遇改善加算の取得など）</p> <p>●【新規】介護施設等経営改善・従事者処遇改善等緊急支援事業費 29.9 億円 賃金引上げやサービスの円滑な継続に必要な経費として、従業員 1 人あたり最大 11.4 万円を支給 ※補助要件あり（処遇改善加算の取得など）</p>
		<p>●バス事業者運行支援緊急対策交付金 0.2 億円 1 台あたり 3 万円を支給〔下半期分〕</p> <p>●貸切バス事業者運行支援緊急対策交付金 0.2 億円 1 台あたり 3 万円を支給〔下半期分〕</p> <p>●タクシー事業者運行支援緊急対策交付金 0.3 億円 1 台あたり 1.5 万円（前年比 + 0.3 万円）を支給〔下半期分〕</p> <p>●運輸事業者運行支援緊急対策費 2.3 億円 1 台あたり 1.6 万円を支給〔下半期分〕</p>



令和 7 年度環境生活部・農林水産部におけるクマ被害対策への取組状況について

基本方針の 5 つの柱	部局	取組事項	事業概要	事業名	予算額（見込）			
					R7当初	9月補正	12月補正	12月臨時会
① 人の生活圏への出没防止	環境	河川における樹木伐採	市街地への出没ルートである県管理河川の河川敷の樹木を伐採	ツキノワグマ被害防止対策				61,446
	環境	市町村が実施する出没防止対策経費への補助	市町村が実施する出没防止対策に係る経費を補助	指定管理（ツキノワグマ総合対策）				30,867
	農水	侵入防止柵設置経費、わな購入や追払い等の活動経費への補助	市町村等が実施する侵入防止柵の設置や、わなの購入、追払い活動、放任果樹伐採等の経費を補助 ※クマ以外を含む事業費であること	鳥獣被害防止総合対策事業	180,000※			30,690
	農水	緩衝帯の整備等補助	野生鳥獣被害対策を実施する地域で行う林縁部における雑草木の除去等による緩衝林帯の整備を支援	森林整備事業費補助				812
			市町村が行う森林整備等による野生動物の出没抑制を目的とした緩衝帯整備への補助	県民参加の森林づくり促進事業		10,000		
	農水	里山林整備	下刈や除伐など里山林の整備に取り組む地域住民等で構成する活動組織の活動を支援 ※鳥獣害防止対策を含む、下刈や除伐など里山林の整備であること	里山林活性化による多面的機能発揮対策事業	20,225※			

② 出没時の緊急対応	環境	麻酔捕獲の実施	市街地出没時対応のため獣医師に麻酔捕獲を委託	指定管理 (ツキノワグマ総合対策)	594		1,982			
	環境	緊急銃猟	市町村が実施する緊急銃猟、緊急銃猟実施対応者等の育成事業に要する経費を補助			5,000		9,209		
	環境	出没時の体制構築	市街地出没訓練を実施	ツキノワグマ被害防止対策	2,846					
	環境	麻酔捕獲者の増員	実動訓練等により即戦力として活動できる麻酔捕獲者を増員				479			
	環境	アプリによる出没情報の発信	全県でのクマの出没情報を県民が通報・共有できるウェブアプリを導入					3,355		
③ 個体群管理の強化	環境	大規模ヘアトラップ調査	個体数把握のため調査を実施	指定管理 (ツキノワグマ総合対策)	39,966					
	環境	小規模ヘアトラップ調査	個体数把握のため調査を実施		2,904					
	環境	指定管理鳥獣捕獲等事業	個体数調整のための捕獲を実施（箱わなの設置を追加）		12,596		23,194			
	環境	捕獲個体処理施設整備	市町村等が処理施設を整備する際の費用の一部を補助	鳥獣捕獲個体処理効率化支援事業費	5,030					
	農水	有害捕獲への補助 (農作物被害防止)	市町村等が実施する捕獲活動に対して捕獲活動経費を補助 ※クマ以外を含んだ事業費であること	鳥獣被害防止総合対策事業	150,000※					
	農水	クマ特別対策への補助 (農作物被害防止)	市町村等が実施する農地周辺におけるクマの捕獲対策等を実施する経費を補助	鳥獣被害防止総合対策事業	9,000					
④ 人材の育成・確保	環境	捕獲技術向上研修の実施	捕獲従事者及び市町村職員を対象とした箱わな設置研修会を実施、専門人材による職員の資質向上	ツキノワグマ被害防止対策	2,134					
	環境	市町村への専門人材の派遣	専門人材による職員の資質向上及び専門知識の施策への反映を図る				4,950			
	環境	ガバメントハンターによる捕獲業務の推進	狩猟免許を有する職員5名を任用し活動に必要な経費と備品費、特殊勤務手当等を措置	指定管理 (ツキノワグマ総合対策)				9,896		
⑤ 体制整備等	環境	人身被害防止のためのCM放送や新聞広報	被害が増加する春季及び秋季に放送や広報を行うことで県民に広く注意喚起	ツキノワグマ被害防止対策	1,980		6,000			
	環境	麻酔捕獲体制構築検討会の開催	市街地での麻酔銃による捕獲体制構築に向けた検討会の開催		378					
	環境	クマよけスプレー配備	県有の県民利用施設78施設に各3本を配備（予備30本）					3,079		
	環境	ツキノワグマ管理計画推進	第5次ツキノワグマ管理計画に基づく対策の推進（検討協議会の開催）等	野生動物との共生推進事業費 (保護管理計画推進事業費)	105					
	環境	試験研究費	ツキノワグマの個体数推定精度の向上ならびに生息密度がツキノワグマの出没に及ぼす影響	試験研究費	6,735					
	農水	クマよけスプレー導入等経費への補助	市町村等が実施するクマよけスプレー等の導入経費を補助	鳥獣被害防止総合対策事業				28,000		
計							444,493	5,000	36,605	177,354
令和7年度予算額（見込）合計										663,452